

ブ ラ ン ク

の 住 空 間

blank home interior

松 井 沙 都 子

Matsui Satoko

2015年9月18日[金] — 10月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

*「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」参加展覧会として、10月3日[土]は22:00まで開廊

*「トークイベント 松井沙都子×山本聖子」=9月26日[土] 16:00時より(七五分予定)・入場無料



*本展DM使用画像

【広報画像01】

《モデルホーム》

2015

協力:UR都市機構

撮影:眞面栗生団地

©Satoko Matsui

ブ ラ ン ク
の 住 空 間

b l a n k h o m e i n t e r i o r

松 井 沙 都 子

M a t s u i S a t o k o

2015年9月18日[金] — 10月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

*「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」参加展覧会として、10月3日[土]は22:00まで開廊

*「トークイベント 松井沙都子×山本聖子」=9月26日[土] 16:00時より(七五分予定)・入場無料



【広報画像02】
《dummy wall》

2013

木材、照明、壁紙 180.0 x 180.0 x 15.0cm

【「INTERIM SHOW」(京都市立芸術大学 新研究棟)展示風景】

©Satoko Matsui

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2015年9月18日(金)から10月4日(日)まで、松井沙都子による個展「ブランクの住空間」を開催いたします。

2004年に京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻を卒業、同大学大学院を経て2015年に同大学大学院美術研究科博士(後期)課程油画領域満期退学する松井沙都子(まつい・さとこ/1981年大阪府生まれ)は、2007年の個展『THOM』(gallery wks./大阪)以降、近年のおもな展覧会では「はならあと こあ 奈良きたまちエリア『在り処をみる』」工場跡(奈良、2014)、「TWS-Emerging 206 /Blind Place」(トーキョーワンダーサイト本郷、2013)、「悦ばしき知覚」(ギャラリー16・京都、2013)など、大阪・京都・東京を中心に多くの個展・グループ展などによる継続的な活動を続けています。

これまでおもに絵画による作品制作に取り組んできた松井は、近年に「現在の日本の生活空間をテーマに、『空っぽ』な状況を体験的に見せるインスタレーション作品」を続けて制作しており、本展覧会もまたこの試みの流れにあるものとなります。

松井はこれらを「現在の日本の生活空間を独自の観点によって解釈し、造形的に象ろうとする」ものとして、そこに「1. 生活空間にまつわる表層の脆弱性 2. 身体感覚としての空洞 3. あるものが一定に留まらない状態」という視点を据えています。

例えば私たちが身体を置いた目に整った住空間は、おもにコンクリートや石膏ボードなどの建材の表層に、ごく薄い壁紙や木目のプリントされた内装材、暖かな色味の照明器具などによって構成されているものが多くあります。言い換えれば私たちの住空間は、この薄い表層と、いくつかの少ない要素によって成立しており、ここに日常として暮らし、あるいはそこに安らぎや郷愁を感じるほどの原風景としてすら認識しています。また、私たちはその表層に触れることで、その材と視覚との差異を認識しており、目と身体による認識の矛盾をも同時に共有しているとも言えます。

住空間におけるこれらの不整合は、私たちの日常の脆さとともに、整合されることのない視覚と身体のあいまいさに対する「私たち」の認識のあり方に深く関わるものであり、そこに眼差しを向けることは、私たちの「不確かさ」や「曖昧さ」を少しだけ明らかにする行為であると言えます。

インスタレーションと写真作品によって構成する本展覧会において、松井は一瞬の「空っぽ」を出現させようと試みます。それはまた私たち自身の「空っぽ」を映し出すとともに、それらを内包する私たちの在り処を問うものであるかもしれません。

ブ ラ ン ク

の 住 空 間

blank home interior

松 井 沙 都 子

Matsui Satoko

2015年9月18日[金] — 10月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

*「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」参加展覧会として、10月3日[土]は22:00まで開廊

*「トークイベント 松井沙都子×山本聖子」=9月26日[土] 16:00時より(七五分予定)・入場無料



【広報画像03】

「Visual Sensation vol.6」展示風景
2015

[Gallery Den mym/京都・南山城村]

©Satoko Matsui

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 ブランクの住空間 blank home interior

出展作家 松井沙都子 Matsui Satoko

会期 2015年9月18日[金] — 10月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで
*「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」参加展覧会として、10月3日[土]は22:00まで開廊

関連イベント 「トークイベント 松井沙都子×山本聖子」 9月26日[土] 16:00時より(75分予定)・入場無料
美術家・山本聖子氏をお招きし、それぞれの作品制作にまつわるお話しを中心にトークいたします。

料金 無料

内容 インスタレーション・写真作品およそ10点による構成。

今日に私たちが見慣れた部屋の内側の表面を覆う均質な内装材と、それらにつつまれた空間を会場につくり出すことで、生活のディテールが欠如した住空間のモデルとも呼べる風景を出現させるインスタレーション。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・永尾) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル] 2F

【Tel&Fax】075-231-0706

【Mail】info@galleryparc.com

ブ ラ ン ク
の 住 空 間

b l a n k h o m e i n t e r i o r

松 井 沙 都 子

M a t s u i S a t o k o

2015年9月18日[金] — 10月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

*「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」参加展覧会として、10月3日[土]は22:00まで開廊

*「トークイベント 松井沙都子×山本聖子」=9月26日[土] 16:00時より(七五分予定)・入場無料



【広報画像04】
《ダイニング》

2015

フロア材、木材、照明器具、インスタレーション

H21×W180×D180cm

[Gallery Den mym/京都・南山城村]

©Satoko Matsui

展覧会について

この数年は、現在の日本の生活空間をテーマに、「空っぽ」な状況を体験的に見せるというインスタレーション作品をつづけて制作しており、今回の展覧会もまた、この試みの流れにあるものです。

これらの作品は、現在の日本の生活空間を独自の観点によって解釈し、造形的に象ろうとするもので、これまで一貫して特に住空間に焦点をおいています。住空間は、建築用内装材という、ごく薄化粧材によって覆われています。現在の日本においては標準ともいえる、見た目に整った住環境ですが、これは厚くても1cmほどしかない内装材がなければ成立しないこととなります。逆にいえば、ごく薄い内装材の表面と暖かみのある照明器具があれば、最低限の日本の住空間らしき見た目のものができあがるということにもなります。

このような住空間の一側面を、できるだけ単純な構造に変換し、誰にでもあてはまるようなモデル空間として作り、提示したいと考えています。

Statement

現在の日本の都市部の風景と、そこに生きる人の有り様について考察しています。

既製概念にそなわる欠落や欠陥を顕在化させることを、造形行為を通じて試みています。

自身の作品制作にまつわる基準は、おもに三つに整理できると考えています。

現段階では下のようにまとめておきたいと思います。

1. 生活空間にまつわる表層の脆弱性
2. 身体感覚としての空洞
3. あるものが一定に留まらない状態

松井沙都子

ブ ラ ン ク
の 住 空 間

blank home interior

松 井 沙 都 子

Matsui Satoko

2015年9月18日[金] — 10月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

*「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」参加展覧会として、10月3日[土]は22:00まで開廊

*「トークイベント 松井沙都子×山本聖子」=9月26日[土] 16:00時より(七五分予定)・入場無料

松井沙都子

<http://matsui-satoko.com/>

1981 大阪府出身
2004 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業
2006 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了
2015 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程油画領域 満期退学

個展

2013 TWS-Emerging 206『Blind Place』(トーキョーワンダーサイト本郷/東京)
2012 『This is dummy』(neutron tokyo/東京)
2011 『Phantom hides upstairs』(neutron tokyo/東京)
- 『Phantom hides on the wall』(neutron kyoto/京都)
2010 『a mimic』展(neutron tokyo/東京)
2009 個展(Five mansion gallery/美容室deem内/神戸)
2009 『a ghost』展(neutron kyoto/京都)
2008 『クローゼット』展(gallery Den 58/大阪)
- ドローイング展(石田大成社ICB/京都)
2007 『THOM』展(gallery wks./大阪)

グループ展

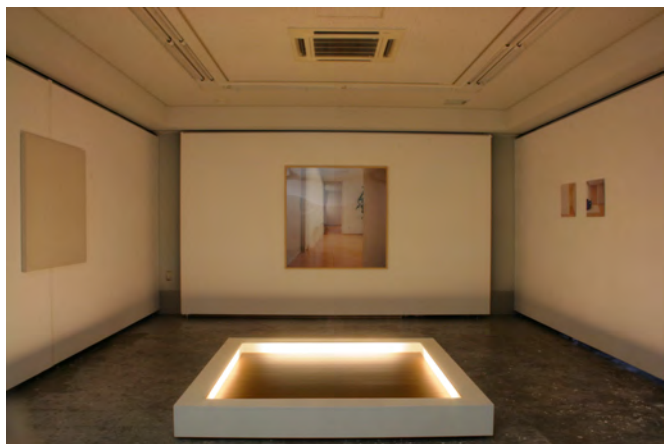
2015 『Studio Exhivisit 2015』(ウズイチスタジオ他/京都)
- 『Visual Sensation vol.6』(Gallery Den mym/京都)
2014 『はならあとこあ』ならきたまちエリア『在り処をみる』(工場跡/奈良)
- 『京展』(京都市美術館本館/京都)
- 『トーキョーワンダーウォール公募2014 入選作品展』(東京都現代美術館/東京)
2013 『カレンダー展』(アーツスペース虹/京都)
- 『悦ばしき知覚』(ギャラリー16/京都)
- 『KYOTO STUDIO』(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都)
- 『INTERIM SHOW』(京都市立芸術大学 新研究棟)
- 『博士展』(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都)
2012 『トーキョーワンダーウォール公募2012 入選作品展』(東京都現代美術館/東京)
- 『つくってみたかったもの』(CAFÉ PULUPO/京都)
- 『〜うつくしきもの〜ミニアチュールの魅力展』(JR 大阪三越伊勢丹 6階・アート解放区/大阪)
2011 『カレンダー展』(アーツスペース虹/京都)
- 『萬福寺芸術祭』(萬福寺/宇治)
- 『GRADATION』(2KW GALLERY/大阪)
- 『2KW 変電所計画 絵画のリズムとノイズ』(2KW GALLERY/大阪)
2010 『オープンスタジオ UZUMASA』(ウズマキスタジオなど/京都)
2009 『カレンダー展』(アーツスペース虹/京都)
- 『S.S.S.』(GALLERY DEN/大阪)
2009 ウズカフェ『F4 3つのアトリエ』展に参加、カフェ運営、展覧会
2008 『太秦出張仕事』(アーツスペース虹/京都)
- 『トゥールピジョン』(O GALLERY EYES/大阪)
- ウズカフェ 一日限りの展覧会
2007 『太秦仕事』(制作スペースでのグループ展)
2004 『主と客』(同時代ギャラリー/京都)
2003 『...について』(YEBISU ART LABO/名古屋)

イベント

2006~現在 『ウズカフェ』(不定期開催)(ウズイチスタジオ/京都)
2013 『つくってみたかったもの』『手作りトートバッグ ワークショップ』(高尾小フェス/旧高尾小学校/京都府南山城村)
2014 『つくってみたかったもののおみせ』(同時代ギャラリー コラージュ/京都)

受賞/入選 等

2006 京都市立芸術大学制作展 奨励賞受賞
2012 『トーキョーワンダーウォール2012』平面部門 入選
- 『TWS-Emerging 2013』出品者選抜
2014 『トーキョーワンダーウォール2014』平面部門 入選
- 『2014 京展』油画部門 入選



上【広報画像05】

博士(後期)課程 第二回目研究発表のための展示風景
(2015)

【京都市立芸術大学新研究棟】
©Satoko Matsui

中【広報画像06】

博士(後期)課程 第二回目研究発表のための展示風景
(2015)

【京都市立芸術大学新研究棟】
©Satoko Matsui

下【広報画像07】

《屋外のシーン》
2014

内装材、音響、木材
H144.6×W45×D150cm